

# 子どもたちが夢や目標を持ち、主体的にスポーツに取り組める環境をつくっていきましょう。

「子どものスポーツ活動ガイドライン」より

## ○体罰等を正当化しない・させないことが大切です。

指導者と子どもたちや保護者との間で、信頼関係があれば体罰等は許されるという認識や「場合によっては体罰もやむを得ない」といった考え方は間違いです。

スポーツ活動の指導者や学校関係者等が、体罰等を厳しい指導として正当化することは間違いです。

保護者や地域の関係者等においても同様の認識を持つことが重要です。

「子どものスポーツ活動ガイドライン」は体育保健課HPに掲載しています。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/93086.htm>



## 「第1回スポーツ指導者研修会」開催!

本県においてスポーツ指導に携わるすべての関係者を対象として、スポーツの指導者として求められる姿を議論する場として「スポーツ指導者研修会」が開催されています。

7月5日(境港市)・6日(鳥取市)アテネ五輪女子サッカー日本代表のキャプテン、現在は境港市教育委員会社会教育指導員として活動されている大部由美氏を迎え「オープンマインドとコミュニケーションスキル」と題した講演と、グループ別協議会が行われます。

今後10月、12月、2月にも研修会を行う予定です。



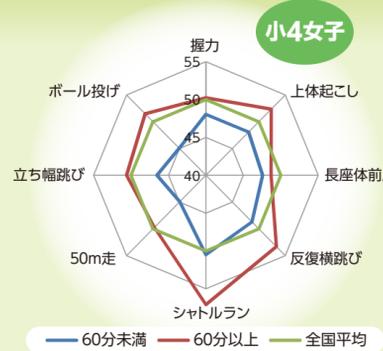
問合せ先 県教委体育保健課 電話 0857(26)7922 FAX 0857(26)7542

# 1日60分 運動遊びやスポーツを楽しんで元気に過ごそう!



平成25年度の鳥取県体力・運動能力調査では、1日60分以上運動する児童生徒は、調査項目全国平均値を上回る傾向にあり、1日60分以下の児童生徒は調査項目全国平均値を下回る傾向にあることがわかりました。特に「走る、跳ぶ、投げる」という基本的な身体能力において差がある傾向がうかがえます。

幼児期から1日60分以上上体を動かして遊び、様々なスポーツに親しむ経験を積むことにより、健康の保持増進とともに、子どもたちが将来取り組む運動種目において力を発揮することにもつながります。



※各種目平均値の運動実施時間による比較(平成25年度鳥取県体力・運動能力調査より)

問合せ先 県教委体育保健課 電話 0857(26)7923 FAX 0857(26)7542

# 県立博物館に“ホンモノ”を見に行こう!



「地学常設展示室」 県内外の代表的な化石・岩石・鉱物を紹介



「大山の生物コーナー」 大山の植物や昆虫を紹介

## 県立博物館ってどんなところ?

鳥取県の自然、歴史・民俗、美術のお宝資料を、「集めて」「調べて」「紹介」するところなんです!

企画展が目立ってしまう県立博物館ですが、実は常設展示にも力を入れています。そこには、教科書に出てくる“ホンモノ”の資料がたくさん展示してあります。中にはレプリカ(複製)もありますが、例えば「自然展示室」では、理科の教科書にある化石や岩石などの地学標本や、動物・植物・昆虫などの生物標本がところせましと展示されています。最近話題のダイオウイカもありますよ。また「歴史・民俗展示室」では、社会の教科書にある石器・土器・埴輪・銅鐸などの展示資料の他に、約150年前の鳥取県の農家を再現した復元民家で当時のくらしが体験できます。「美術展示室」では、鳥取藩ゆかりの絵師や鳥取県の近現代美術など、郷土と関連の深い美術作品を博物館のコレクションの中から紹介しています。

「これ教科書でみたことある!」博物館は、そんな“ホンモノ”の資料たちに出会える場所です。

夏休みは“ホンモノ”に会いにぜひ県立博物館に来てみませんか。

問合せ先 県立博物館 電話 0857(26)8042 FAX 0857(26)8041

教科書だけじゃもの足りない!



「銅鐸」 鳥取市経路から出土した流水文銅鐸



「復元民家」 昔の生活用品や明かりの道具が展示

# シリーズ 県立高校の取組

## 県立日野高等学校 日野高ショップ ~地域との連携~

日野高では日野町根元の旧根雨宿舎番館で、生徒が製造したトマトケチャップ・ジャム・味噌・豆腐などの加工品や季節の草花を販売する日野高ショップを開店しています。生産や販売を通して地域の方々と交流を深め、生徒の日常の活動を広く地域に発信することをねらいとしています。地元の方も楽しみにしておられ、毎回たくさんの方にきていただいています。



問合せ先 県立日野高等学校 電話 0859(72)0365 FAX 0859(72)0366 <http://www.torikyo.ed.jp/hino-h/>

5月10日(土)	販売繁盛の折願を込め、郷土芸能部が荒神神楽を奉納しました。
6月14日(土)	
7月12日(土)	
8月12日(火)	盆花が毎年好評をいただいております。
9月13日(土)	
10月25日(土)	学校祭の一環として日野高校で開催します。
11月8日(土)	
12月6日(土)	1年間のお客様への感謝の気持ちを含め、豚汁の無料配布を行います。



## 生徒の感想

- 開店前から行列ができてとても緊張しました。どんどんお客さんが来るので袋詰めが間に合いませんでした。
- 花にどの土が合うのか聞かれたけれど、答えられませんでした。事前の勉強が大切だと思いました。

# シリーズ 鳥取県のエキスパート教員

鳥取県では、優れた教育実践を行っている教員を「エキスパート教員」として認定し、教職員全体の指導力向上を図っています。

今回は、鳥取県立米子工業高等学校の足立誠司教諭(認定分野:情報電子科)にお話を伺いました。



## 身の回りは不思議なことばかり

工業技術は、我々の生活を豊かに、そして便利にしてくれます。普段の生活に、工業技術は深く浸透しています。私は工業科の情報電子が専門で、授業ではいかにして生徒たちが興味・関心を持つのかを重視しています。「なぜ・ふしぎ」や「なにそれ、おもしろい」が工業を学ぶ出発点です。例えばパソコンのキーボードのAを押したら画面にAが表示されるのは当たり前のことではなく、実はとても大変な処理を行っているのです。それを「なぜ・ふしぎ」と気付くのは意外と難しいですが、「言われてみれば、何で?」から始まり、「なんだ、そうだったのか」に至ったときの生徒たちの表情は、まるで世の中が少し明るくなったかのようです。

ここで興味・関心事を一つ。皆さんのご家庭にコンピュータがいくつあるか考えてみましょう。「パソコンが1台あるなあ」と思われた方、大変な計算間違いです。ほぼ全ての家電製品に数個ずつ、自家用車1台に50個くらいのコンピュータが搭載されています。

## 「実践」することと「職業観」は両輪

工業には「実習」という科目があります。生徒は実習をとらして、通常の教室で行う授業をより深く理解するとともに、机上の理論を実現することの面白さや難しさを学びます。

また、実習ではどうしたら効率的で安全に「ものづくり」ができるか、そのためには、どんな環境が必要かを考えます。整理・整頓・清掃・清潔・躰、いわゆる「5S」の教育です。これらを教えることが、社会に出てから技術者の「職業観」として役に立つと思っています。「実践」と「職業観」は両輪であることが大事です。工業高校卒業者の高い就職率と職場定着率は、工業科の先生方のこれらの不断の教えが大きな要因ではないかと、最近思うようになりました。

工業技術は身近な存在であり、教材が身の回りにあります。また、それらの技術が日進月歩です。ものづくりは面白く、工業は興味・関心を喚起しやすい教科なので、これからも生徒たちに工業を学ぶ楽しさを伝えていきたいと思っています。

問合せ先 県教委高等学校課 電話 0857(26)7916 FAX 0857(26)0408

# シリーズ プロ(文化財主事)が教える文化遺産のツボ!

## 第13回 鳥取で地球の歴史を体感しよう!

### 浦富海岸



もうすぐ夏休み。今回は数あるアウトドアお出かけスポットのうち、今夏のイチオシ!!として「名勝及び天然記念物 浦富海岸」を紹介しましょう。

浦富海岸の特長は、透き通るような青い海と、数万年単位の地殻変動と波の浸食により形成された島や洞門、砂浜などが連続するリアス式海岸の景観です。

文化財としては、1927年(昭和2)年に鳥取県初の名勝指定を含む国指定文化財「名勝及び天然記念物 浦富海岸」になっています。このほか現在では、「山陰海岸国立公園」や地質遺産「山陰海岸ジオパーク」として世界ジオパークネットワークにも加盟認定されています。「日本百景」「日本の白砂青松100選」など、古くから、景勝地に係わる百選ものの常連でもあります。



地殻変動と波の浸食により形造られた海岸地形



景勝スポットの一つ「鴨が磯」

浦富海岸の歴史を知るスポットもあります。海水浴場の一角には、文化財指定を示す古い木柱とともに、1894(明治27)年に山陰初の海水浴場開設を記念する石碑が建てられています。海の守り神を祀る背後の荒砂神社では、江戸時代の立派な竜の彫刻を見ることができ、少し西側の鴨が磯には日露戦争の日本海軍戦後に漂着したロシア軍将兵を村民

が手厚く葬ったことを記念する石碑があるなど、海沿いの探勝路を歩きながら、美しい海岸風景とその歴史に親しむことができます。これからの季節なら城原海岸付近からの夕日鑑賞もオススメです。

小学生のみならず!夏休みの自由研究の材料に使えば、鳥取から地球の歴史にまでアプローチできるスケールの大きな研究もできますよ!

問合せ先 県教委文化財課 電話 0857(26)7934 FAX 0857(26)8128 鳥取県の文化財情報HP(とっとり文化財ナビ) <http://db.pref.tottori.jp/bunkazainavi.nsf/index.htm>

鳥取県立日野高等学校 青森上野地蔵講イメーキャラクター 「たてと」

作者 鳥取市立浜坂小学校 中林七海さん 木製のたてのキャラクターです。やりを持っている姿で強そうにしました。歯がガタガタなところがかわいいです。